



第44回 毎日こどもピアノコンクール 本選会・小学校3年生の部

審査員講評

わかされい
若狭玲衣先生（当番審査員）



本選会に出場の皆様、おめでとうございます。

予選で一度まとめ上げたものを期間を空けて再度本番で演奏する、というのはとても大変なことだと思います。くずれてしまって立て直すのに苦労したり、思うように弾けなくなって気持ちばかり焦ってしまったり、という方もいらしたのではないのでしょうか。

しかし、どの方も見事に自分の思い描く音楽をのびのびと表現されていて、暑い中練習を重ねられたことがよくわかりました。皆様の努力や、サポートされたご家族の方々、丁寧なご指導で本番に向けて調整された先生方に、心から敬意を表します。

今後の練習に活かして頂けたらと思ったことをお伝えしたいと思います

まず、演奏する際の身体の使い方についてです。まだまだ手も身体も小さな三年生の皆さん。こう弾きたい！という気持ちが強くなると、つい必要以上に上半身を揺らしてしまったり、頭がグラグラしてしまうことがありました。頭が動くと耳の位置も動くため、自分の音が聞きにくくなったり、身体の揺れと音楽の流れが合っていないと、なんだか不自然に見えてしまうこともあります。

ピアノの前に座ったら、背骨に一本、しっかりとした軸を意識して持つことが大切です。お腹でしっかり支えると、腕の力も抜けて柔らかい音が出せるようになります。呼吸も深くなり息長く歌えるようになるので、ぜひ練習の時から「お腹で支える！」を心がけてみてください。

もう一つはペダルについてです。この学年からペダルを使う選択曲も多くなり、まだ使い始めて間もない方は、美しい響きを作るのに苦労されたことと思います。ペダルは踏みこむタイミングはもちろん、どこで離すのか、また、踏む深さによっても音色が変わってきます。おうちやレッスン室と同じペダルの使い方をしたのにホールがよく響くため、濁って聞こえてしまう場合があるのも難しいところです。

普段から自分の出す音をよく聞く習慣をつけましょう。出したい音色をよくイメージして、メロディとバス音のバランスはどうか？ここでペダルを入れるとどんな響きになるかな？と、よく耳を使って、多彩な響きが出せるよう色々試してみてくださいね。

今回のステージを経験して、一回りも二回りも成長されました。どうぞこれからも楽しく音楽と向き合い、来年また素敵な演奏を聞かせてください。楽しみにしています！